

おたる 西別院だより

報 恩 講 号



親鸞聖人 かがみのごえい 鏡御影

聖人のお姿が、あたかも鏡にうつしたようによくえがかれているのでこの名がある。墨一色の簡素な線描画であるが、筆致はきわめて力づよく、よく聖人の風格をあらわしている。像高二八センチ余。専阿弥陀仏の描くところである。

（本派本願寺蔵）

平成13年度親鸞聖人報恩講は10月12日(金)～16日(火)です。

説教所・教化団体 報 恩 講	9月15日(木)	仏教婦人会	報 恩 講
	9月30日(日)	緑 説 教 所	報 恩 講
	10月27日(土)～28日(日)	新 光 説 教 所	報 恩 講
	10月29日(月)～30日(火)	奥 沢 説 教 所	報 恩 講
	11月11日(日)	若 竹 説 教 所	報 恩 講
	11月中	仏教青年会	報 恩 講
	12月中旬	仏教壮年会	報 恩 講

10月12日(金)より17日(水)まで、月忌参りをお休みさせていただきます。

報恩講を迎えるにあたって



輪番片山 晃英

今年もみなさまとともに、私たちの
 小樽別院の報恩講の御勝縁が巡ってま
 いました。私どものこのころの依りど
 ころのこの本願寺小樽別院で、宗祖親
 鸞聖人のご遺徳を、有縁門信徒のみな
 さまとともに仰ぐことが出来ますこと
 は、まことに有り難く、身の引き締ま
 る思いであります。

今から八百五十年前の、宗祖親鸞聖
 人ご在世の時代は、今の私たちが想像
 も出来ない程厳しい時代でありまし
 た。その中を聖人は、阿弥陀如来のご
 本願（南無阿弥陀仏）の、み教えを

「このころ」の依りどころとして、九十
 年の御生涯を力強く生き抜かれ、お念
 仏のみ教えを私たちにお伝え下さいま
 した。

人間としてこの世に生まれさせて頂
 き、遇い難きみ教えに遇い得た慶びは、
 遠く過去からの因縁のもと、み教えの
 中に“いのち”を今日までいただき、
 この小樽別院報恩講に参拝を致すこと
 の出来る身の幸せを、皆様と共に慶び
 ながら、お念仏申させて頂きたく存じ
 ます。

なお小樽別院報恩講は例年の通り、
 十月十二日より十六日までお勤まりに
 なります。

親鸞聖人のご命日の一月十六日に
 は、京都のご本山へおまいりするの
 本来ですから、小樽別院は「お引き上
 げ」「お取り越し」としてお勤め致し
 ます。

合掌

◆宗祖親鸞聖人報恩講法要日程表◆

期 日	時 間	法 要 ・ 行 事	布 教 () 法 話
十二日(金)	九時 十時三十分	○双葉高校参拝(3学年) ○三園合同参拝	布教一席 教重師
	十三時三十分	○遺夜(大師影供作法) ○晨朝(正信偈草讀六首引) 和讃「三朝浄土」	布教一席 教重師
	六時三十分	○遺夜(大師影供作法) ○晨朝(正信偈草讀六首引) 和讃「三朝浄土」	布教一席 教重師
	十時	○日中(十二礼作法)	布教一席 教重師
	十三時三十分	○遺夜(大師影供作法)	布教一席 教重師
	十八時	○初夜(般舟讃) 御伝鈔上巻持読	崇敬法中(三十分) 布教一席 教重師
		祖徳讃仰	
		祖徳讃仰	
		○晨朝(正信偈草讀六首引) 和讃「五十六億」	布教一席 教重師
		○日中(十二礼作法)	布教一席 教重師
		○遺夜(奉讃大師作法)	布教一席 教重師
		○初夜(日没礼讃偈)	崇敬法中(三十分) 布教一席 教重師
		祖徳讃仰	
		○晨朝(正信偈草讀六首引) 和讃「尊者阿難」	布教一席 教重師
		○日中(十二礼作法)	布教一席 教重師
		○庭儀(雅児行列)	布教一席 教重師
		○遺夜(五會念仏作法) 御俗姓持読	布教一席 教重師
		○物故者追悼法要	布教一席 教重師
		○初夜(初夜礼讃偈) 御伝鈔下巻持読	崇敬法中(三十分) 布教一席 教重師
		祖徳讃仰	
		○後夜(讀仏偈)	布教一席 教重師
		○晨朝(正信偈草讀六首引) 和讃「弥陀成仏」	布教一席 教重師
		○満日中(報恩講作法) 代表焼香・御礼言上	布教一席 教重師
十六日(火)	六時三十分 十時		布教一席 教重師

講師／浄土真宗本願寺派布教使
 教重 文雄師

別院フォトクラブ

お盆編



次回もお楽しみに。

花嫁衣装一式・貸衣装・高級祭壇葬儀一式
 通商産業大臣許可 互 第1010号
 全日本冠婚葬祭互助協会会員

株式会社 **小樽新生活互助会**

小樽市花園4丁目8番1号 国道5号線・山側

TEL 25-8743
FAX 25-8745

株式会社 日本旅行

北海道小樽支店

小樽市稲穂2丁目22番4号

☎ 0134-33-4455

(社) 日本旅行業協会会員 

ご案内

お・晨・朝

毎日 午前6時30分

常例布教

毎月7日～11日 午後1時30分
13日～16日 午後1時30分

仏教青年会

毎月1回 午後7時30分

仏教婦人会

毎月15日 正午（おときあり）

仏教壮年会

毎月6日 午後7時

おつとめしま専科!

毎月2回（火曜日） 午後2時

ボーイスカウト

毎月1回（土曜日） 午後2時

日曜仏教講座

毎月1回（第3日曜日）
午前9時30分

十九日講

毎月19日 正午（おときあり）

各説教所の案内

●奥沢説教所

樹心会 5日 午後7時
唯信講 10日 正午

●若竹説教所

彰心会 7日 午後7時

●緑説教所

無量講 9日 午後6時

●新光説教所

法友会 13日 午後6時

カブスカウト 募集!

何でも話しあえる友達をつくろう。

活 動／毎月1回 土曜日 午後2時～4時

内 容／文化しせつの見学、お泊り会、運動会。
小学校2年生から5年生の男子、女子を
大募集!ぜひ連絡下さい。

TEL 22-0744 担当 温井、村田、猪口

仏教青年会 会員大募集!

●活動内容／文化活動、ボランティア

月1回例会

各種レクリエーション（ボーリング、カラオケ、スキー等）

10代、20代の男女を待っています。

ぜひ気軽によってください。

連絡 TEL 22-0744 担当 温井、村田、阿部

おつとめ しま専科!

只今、会員さん増殖中!! 伝染するよ

対 象／どなたでもどうぞ。

費 用／特に必要なし!

日 時／月2回の火曜日午後2時

お問い合わせ／今すぐ別院の磯村・阿部まで...

第二十回晨朝百日参拝

達成者のお知らせ

平成十三年度の百日参拝が終了しました。今年は二十人の方々が百日参拝を達成されましたのでお知らせします。

なお小樽別院では年間を通じて毎朝六時半よりお晨朝のおつとめが行われています。皆様お誘い合わせの上、是非ともご参拝下さい。

【連続百日参拝達成者8名】

川崎 正吉様、荒木美津子様、岩船 寿様、長谷部和子様、前田 幸一様、前田 民子様、三浦 幸子様、宮本 み子様

【百日参拝達成者 12名】

悦永アサエ様、佐野 緑様、嶋田アイ子様、清水 和子様、辻井富士男様、花坂 一恵様、長谷川ユキ様、平位 京子様、平田 晴己様、見楚谷光子様、安田 芳枝様、和崎 光晴様

別院門信徒物故者追悼

法要のご案内

慈光のもと門信徒の皆様には、益々ご健勝にてお念仏相続のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび小樽別院本堂におきまして、今日まで別院にご縁があった方々の追悼法要を左記の通り執り行います。

このご法要は、今の世が多くの人々の尊い命の上に成り立っていることに一人ひとりが思いを致し、生きとし生けるものすべての命の尊さに目覚め、門信徒の皆様と共に先だつていかれた方々を偲ばせていただく法要であります。

このご縁に一人でも多くの方々のご参拝をいただきたくご案内申し上げます。

記

日時 平成十三年十月十五日（月）
十三時三十分
（報恩講大建夜に引き続き）
場所 本願寺小樽別院本堂

報恩講について（解説）

報恩講のおしる

浄土真宗の報恩講のはじまりは、親鸞聖人が往生されてから、師法然上人の御命日（二十五日のお念仏）をおつとめされていたものを、「毎月二十七日のお念仏」「毎月二十八日」と親鸞聖人の命日に改められた念仏の集云がおしるとしてとられます。

第三代覚如上人は、一二九四（永仁二）年の冬、親鸞聖人の三十三回忌を迎えるに当たって、報恩謝徳のため「報恩講式」を作られ、これ以来、親鸞聖人のご命日におつとめする法要を報恩講と呼ぶようになりました。

続いて翌年、親鸞聖人御一代を絵巻形式の絵図と詞書であらわされた「善信聖人絵」（親鸞）伝絵を作られ、現代もこれが礎となって、御絵伝は余間に、また、「御伝鈔」を拝読するのが報恩講のならわしとなっています。

明治五年（一八七二年）十一月に政府による改暦の発令をもって太陽暦となりました。これによって当年の十二月三日（太陰暦）が明治六年

一月一日と定められました。

従前の太陰暦で、十一月二十一日から二十六日まで勤修されていた本願寺の御正忌報恩講は太陽暦にあわせて、明治七年より一月九日から一月十六日までをご修行の期間としたこととあります。

御伝鈔と御絵伝

覚如上人が一二九五（永仁三）年に作られた「善信聖人絵」は詞書の文章と絵とを交互に配した絵巻形式の伝記ですが、その後増補改訂されて題名も「本願寺聖人親鸞伝絵」となりました。それがいつの頃からか、聖人のご生涯を多くのご門徒の方がはいけんできるようになると、絵巻の文章と絵を別々に分け、今の御伝鈔と御絵伝とよばれる形式になりました。これより聖人のご一生の物語が報恩講に拝読され、また余間に御絵伝をお掛けするようになりました。

御伝鈔は上下二巻からなり、御絵伝は一般に四幅本が用いられ、画面の下から上へ、また右から左へと拝見する順序になっています。

十人十声

●「アンパンマン」の歌より

西川 達恵



子供に人気の歌（マンガに「アンパンマン」というのがあります。その歌の一番は「何のために生まれて、何をして生きるのか 答えられないなんて そんなのはいいやだ」二番は「何が君のしあわせ 何をしてよろこぶ わからないまま終わる そんなのはいいやだ」という歌詞です。私達は不思議なご縁により人間としての命を恵まれたと同時に、二度と繰り返すことのできない限りの命を生きています。「アンパンマン」の歌を通して「何のために生まれ、何のために生き、何をしてよろこぶのか」差し示されている仏法（おみのり）に出逢えたことを、いよいよ頼もしく有り難く感じられたことでした。

●陰の力

武藤 二孝



親しい友を亡くされた方が、「私も遠からず御許へ」と言われました。私たちお念仏の教えを聞く者は、亡き方とお浄土で再び会わせていただくのです。そしてまた、そのような教えをいただく私たちは、幸せ者であります。

ある作家は、「生きている我々は、死んだ人には何も出来ない。しかし、死んだ者が生きている我々を思う心は、まことに計り知れないものがある」と言っています。

お釈迦様も、「私は死ぬのではないが、いつまでも生きていると皆が甘えてくる。私は死んでも死なない。」と言われました。すなわち、肉体としての釈迦は死んでも、法としての釈迦は死なないということなのです。

私たちは物の豊かな時代に暮らし、目に見えるものしか価値を見い出そうとしますが、私たちの世界を、底から支えて生かしている世界があるということに、気がつかなければならぬと思うのです。まさに、「お陰さまで」ということだと思ふのです。 合掌

●悲しみの深さのなかに 真のよろこびがある

村上 隆昌



八月の法語カレンダールの言葉です。「悲しみの深さ」とはどういうことを言うのでしょうか。作家の高史明さんは、最愛のお子さんに先立たれてはじめて真宗のご縁に遇われた方です。「白骨の御文章」に出遇われたときのことです。「行つてきます」といつて学校へ出かけていって、夕方にはお棺に入って帰ってきたわが子。親子三人で暮らしていた家のなかに、子供だけが白骨となつていて、その白骨を見つめながら、「ただ白骨のみぞのこれり」というお言葉

を心からうなずかないわけにはいかなかった。お父さん、これはあなたの身の事実なんですよと、そのよびかけに気づいた時、高さんは初めてお子さんを通して自分にどどいている阿弥陀さまの願いを聞くことができたのです。「たすけてください」ではなく、私を救わずにはおかぬぞとの仏の慈悲を「たのむ」であつたと。お子さんに導かれて、はじめて真実の「いのち」の世界に遇われ、

自分の歩いてゆく先には何も無いに等しいと思つていたが、「いのち」の世界に開かれていくと知らされたのです。一時的な喜びではなく、深い悲しみの闇の中にあつて迷つていた私が、いのちの光に照らされていることに気づき、真の喜びをいだかれたのだと思ふます。

●学生時代のツケ?

磯村 真一



最近になつて思うことは、学生の時にもっと勉強しておけば良かったということ。当たり前前のことを今更と思われるかも知れませんが、事件です！

今から二年程前、あるご門徒さん宅で産まれて間もない赤ちゃんを抱かせていただきました。その時の印象は、小さくて、ぶよぶよしていて、とても可愛いものでした。次にそのお子さんと再会したら、既にヨチヨチ歩きをする二才になつておられました。ついこの前、この手で抱かせていただいたばかりなのに、大きくなったなあ（しみじみ）と思い、優しく（多分）「お・は・よつ（子供言葉で）」と声をかけたら、「ハロー」と返ってきた。更に、遊んでいるおもちやを見て愕然とした。おもちやには、英語やアルファベットしか書かれていない！。私は負けた、二才のお子さんに…。

●仏法は誰のためにあるのか

梶 純信



妙好人として名高い讃岐の庄松さんという方に、次のような話が伝えられています。お手次寺の住職が庄松さんを大変かわいがり、何かにつけて庄松さんを引きあいにしつてほめていました。

ある日そのお寺の僧侶の一人がそれをねたみ、庄松さんを困らせてやろうと思つて、お同行たち

のいるなかで、「おまえはありがたいお同行さんだそうじゃや、このお経を読んでみてくれ」といって庄松さんに「大無量寿経」をさしだしました。庄松さんが文字一字も知らないことを承知のうえで、いやがらせでした。

ところが庄松さんは、平気な顔でそのお経本をうけとると、うやうやしくいただいて、「庄松を助けるぞよ、庄松を助けるぞよと書いてある」といつたそうです。

このお話は庄松さんが、何よりも私の助かる教えとして、仏様の教えを受けとめておられる逸話であると感じます。

歎異抄にも「弥陀の五劫思惟の願をよくよく案ずれば、ひとへに親鸞一人がためなりけり」という親鸞聖人様のお言葉があります。

仏様の教えを私のためと受け止めていく心が、「おかげさま」、「有り難い」という生き方につながっていくのではないのでしょうか。

報恩講のご縁によくよく考えさせていただきました。いものです。

●若い時から

温井 卓生



この世を生きているのは忠孝の道、この世の規範は教育勅語という時代の中で、仏教は前生の業を説き、後生の楽果の

みを説くものになつてきました。ですから現代でも、お寺は死後とまでいわなくとも、死が近づいてから用のあるところと考えている人が多いようです。仏教は、前生と後生のみを説くものではありません。今生、今、ここに生きている私が、この命をどういけるのかということが、釈尊が一番あきらかにしてくださつたところ。 「寝て食て、寝て食て、忙しい、忙しい」だけで、この命を終るならば、こんな悲しいことはありません。いただいた命を本當に活かして、一日一日を生きて。そのためには、よりどころをもちな

さいと教え、そのよりどころをあきらかにしたのが
 仏教です。ですから、仏教に遇うのは早ければ早
 いほど若ければ若いほどいいのです。だからとい
 って、年老いたものは仏教を聞く必要がないとい
 うことではないのです。一度は必ず仏教に遇って
 ほしい、遇うのはすこしも早い方がいいのです。

●自分勝手な人間

日野 尊行



みなさんになじみの深い仏
 教行事として、お盆やお彼岸
 がありますが、その際お供物
 はかならずさげて帰って、お
 さがりをいただいて下さい」と言
 っているけどさみしいから」と
 言っている方が、
 「わ
 かない人が多い様です。我々は毎日、たぐさんの
 命をうばっては、その犠牲の上に生かされていま
 す。その命の犠牲に報恩感謝の気持ちももたず、
 私の「さみしい」という心情を押し通すのはどうで
 しょうか。思えば私達は、人間にとつて害になる
 生き物を、害虫だ何だと言っては殺します。しか
 し地球規模で考えれば、人間ほど害な生き物はな
 いのです。そういう理屈で言うならば、人間こそ
 葬られるべき存在でしょう。仏教とは、私達が自
 分自身で気がつかない、そういう自分のあやまった
 姿をしらしめてくれる、そういう教えであります。

●本当の「しあわせ」とは

村田 法道



親鸞聖人幼年の時代は、平
 家と源氏の戦乱の世で、藤原
 家の血筋であった親鸞聖人
 すが決して裕福な生活をして

いたのではなく、四歳と七歳には、京都に大震災、
 又大飢饉によって多くの人々が亡くなった。八歳
 の頃には実母との死別。このように騒然とした時
 代に成長された聖人は、人の「いのち」の無常さや、
 財産や地位というものが空しくはかないものかと

いうことをいやというほど知らされたのです。親鸞
 聖人は、世の中が変わっても決して変わることに
 ない幸福をえたいと願われお得度を受けられました。
 今の私達は、財産や地位によって「幸せのパロ
 メーター」を決めているのではないのでしょうか。今
 一度親鸞聖人の思いに立ち返り「本当の幸福」とい
 うことについて考えたいと思います。

●心の通じ合える関係

阿部 慶剛



ひと昔前までは、あまり喋
 らず、頑なで、無口な、例え
 ば高倉健さんのような男性が
 好感をもたれる時代でありま
 した。

しかし、現在ではNHKの調査で明石家さんま
 さんが好感度一位となる事も判るとおり、よく
 喋り何でも物事をハッキリと言う男性が人気とな
 る時代になりました。
 私達がお互いにコミュニケーションを取る時、
 何も話さずに物事を伝えようとするのはなかなか
 難しいことです。
 無口な男性よりもよく喋る男性が好感をもたれ
 るような時代となった今、何も話さなくとも心の
 通じ合える関係というものが、難しくなってきた
 ということでしょうか。
 異性関係だけではなく、家族・友達関係の場
 においても、何も話さずとも心の通じ合える信頼関
 係を築きたいものです。

●研修旅行

猪口 大悟



私は先月（八月）仏教壮年会
 の皆さんといっしょに石狩番
 屋へ一泊研修会に行つてまい
 りました。

お天気にも恵まれ、車中から見える雄大な北海
 道の自然の景色に大変心を動かされたものです。

さて、宿に到着し、一息つくのもそこそこ、
 私たちは研修会を始めました。
 研修会では、用意した議題をもとにお互いに意
 見を出し合うといったものでした。そこではさま
 ざまな意見が出され、普段私たちがあたりまえのこ
 ととして気にとめなかったことを、深く考えさせら
 れる意見などもあり、大変有意義でありました。
 たとえ答えが出なくても、皆が集まって意見を
 出しあうことはとても価値のあることですし、全
 員開法、全員伝道の私たちにとって大切なことで
 あると強く感じました。
 あと私お酒が弱いことが確認できました。

●ワイン

相馬 早苗



ここ数年前からワイン・ブ
 ームとなり、よくワインは健
 康にいい」と言われています
 が、はたしてどのように健康に

いいのか、今回はワインについて調べてみました。
 特に赤ワインが人気とされていますが、赤ワイ
 ンには、ポリフェノールという成分が多く含まれ
 ており、その成分が、さまざまな病気を引き起こ
 す活性酸素を中和する働きがあるそうです。活性
 酸素が増加する原因は、ストレス・喫煙・排気ガス
 で、それを原因として起きる病気が、心臓病・が
 ん・脳卒中・アルツハイマーと、言われています。
 いくら赤ワインが体にいいといっても、飲みす
 ぎてはアルコール中毒の原因となってしまうため、
 一日に最大二人で一本程度、適量はグラス二杯に
 なります。

もちろん赤ワインだけではなく、白ワインにも
 白特有の効果があるそうです。白ワインには大腸
 菌やサルモネラ菌に対する抗菌作用があるそうで
 す。ですから、体内の悪玉菌を抑え、善玉菌を増
 やしてくれるので、腸内の細菌のバランスがよく
 なり、食中毒・大腸がんを予防してくれそうです。

●意識

渡部 恵



ある本に「悪いと意識しなが
 らする悪いこと、無意識にす
 る悪いこと、どちらが罪が重
 いと思えますか？」という文章
 がありました。私は悪いとわかっていながらもす
 る悪いことの方が罪が重いのでは？と思いました。
 けれど、それは反対でした。確かに悪いとわか
 っている事は、止める事ができますが、無意識の
 うちに行ってしまった事には、悪いことをしたと
 いう意識がないために悔いることもありません。
 自分が悪いと気がついていないことは大変恐ろし
 いことです。

「自分が正しい」と思ってしまうほど、悪いこと
 をしたことに、気がつかないのではないでしょう
 か。時には自分の行動を振り返ることも大切なこ
 とだなと思いました。

2001年（平成13年）
 年 回 表

1 周忌	平成12年
3 回忌	平成11年
7 回忌	平成7年
13 回忌	平成1年
17 回忌	昭和60年
25 回忌	昭和52年
33 回忌	昭和44年
50 回忌	昭和27年

みんな 仲良し
小樽幼稚園
 ～まこと（いのち）の保育を行ないます～

当園では、浄土真宗のみ教えに基づき「いのちの大切さ」「自然への感謝」「やさしい心」などを育てるよう保育に努めています。

又、お絵かきや工作などのクラスでの活動の他に、プール遊びや、週に2・3回クラス合同のホールでのリズム遊びなどを通し、異年齢の交流を深めており、年長から年少までみんな仲良く遊んでいます。

10月から園児募集が始まりますので、宜しく申し上げます。ご近所、皆様お誘い合わせて、是非一度見学にお越し下さい。



★保育時間 →月曜日～金曜日（8:40～13:30）

★昼食 →毎週火曜日は、給食（パン・飲み物・デザート）で、それ以外の曜日は、お弁当です。

★預り保育 →月曜日～金曜日（17:30迄）行います。（15:00迄は無料です）

★プール遊び →年間を通して、週1回温水プール遊びを行っています。

★送迎バス →ご希望の方は、ご自宅付近まで送迎致します。

★主な行事 →花まつり・降誕会・運動会・海水浴・親子遠足・報恩講・お遊戯会・おもちつきなど。

園児募集

- ◎募集園児 3才児（3年保育）20名
4才児（2年保育）50名
5才児（1年保育）30名
- ◎願書配布 平成13年10月中旬から
- ◎願書受付 平成13年11月初めから



◆10月から街頭に園児募集のポスターを掲示します!◆

学校法人 小樽龍谷学園 **小樽幼稚園**
 小樽市若松1丁目4番17号 TEL 0134-22-6536